伝普賢堂跡

ここには、普賢菩薩を祀るためのお仏堂があったと考えられています。庭の西側、舞鶴ヶ池の排水のそばに、この普賢堂跡はあります。

この場所では礎石が発見され、こうした礎石がまだ土に埋もれているのを見ることができます。伝普賢堂跡が建設された正確な年代は不明のままですが、観自在王院よりも後に建設されたとも考えられています。

伝普賢堂は、庭園の西側、舞鶴が池の排水口や、かつて観自在王院の鐘楼の跡とされる礎石の近くに位置します。